

 **SkyPDF[®] Professional 7**

 **SkyPDF[®] Standard 7**

 **SkyPDF[®] Viewer 7**

ユーザーマニュアル

(b.タイムスタンプ・署名の検証／鉛筆ツール)

株式会社 スカイコム

はじめに

本書は SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7（以下、本製品）で共通して使用できる機能を説明するものです。

本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。

当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。

本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

予めご了承ください。

商標情報

- 主な商標情報は別紙に記載しています。（別紙参照：SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)）
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名、および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	2
目次	3
用語集	4
1 概要	5
2 タイムスタンプ・署名の検証	6
2.1 環境設定の [電子署名] タブ	6
2.2 証明書をインストールする	8
2.3 検証に関する設定	10
2.4 検証する	11
2.5 検証結果について	12
2.6 検証できない場合	17
2.7 署名履歴の世代表示	18
3 鉛筆ツール	19
3.1 環境設定の [注釈] タブ	19
3.2 鉛筆ツールで描画する	20
3.3 注釈の編集	21

用語集

本書における主な用語の定義を説明します。

※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
SkyPDF Viewer	当社が無償配布している PDF 閲覧ソフト PDF ファイルの閲覧機能のみの提供となり、編集・作成はできない ダウンロードページ： https://www.skycom.jp/free/
SkyPDF Standard	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Viewer が提供する機能に加えて、PDF 作成機能や編集機能を備えている
SkyPDF Professional	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Standard の上位版となり、Standard が提供する機能に加えて、高度な PDF 編集機能を備えている
環境設定	本製品の各種設定を行うための機能 [ツール] メニューか、あるいはツールバーのアイコンから

1 概要

SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7 は、どのエディションでも、PDF の閲覧・印刷および署名の検証が可能です。

本書では、SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7 で共通する以下の機能について説明します。

- タイムスタンプ・署名の検証
- 鉛筆ツール

ただし、一部 SkyPDF Standard 7 か、SkyPDF Professional 7、それらと同等の製品でしか設定できない項目の説明もあります。

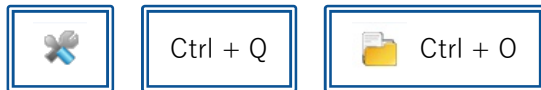
その場合は

※ PDF の編集が可能な製品エディションであれば編集可能です。

※ Standard / Professional エディションのみ

などの注意書きを記載します。

また、ツールバーにアイコンがある操作、ショートカットキーがある操作、その両方がある操作は、



のようにアイコンとショートカットキーを記載します。

2 タイムスタンプ・署名の検証

PDF ファイルは、電子署名やタイムスタンプが付与されている場合があります。

これらは電子文書の完全性を証明する役割を果たす技術です。

電子署名は「だれが」作成した時点から改ざん・偽造がないかを、タイムスタンプは「いつ」の時点から改ざん・偽造がないかを証明します。

電子署名の主な検証内容

- 署名後に文書が変更（改ざん・偽造）されていないか
- 使用された証明書が検証者の信頼済み証明書リストにあるか
- 使用された証明書は有効期限内か
- 使用された証明書は失効していないか

タイムスタンプの主な検証内容

- いつの時点から存在していた文書か
- タイムスタンプ追加から現在までの間に文書が変更（改ざん・偽造）されていないか
- 使用された証明書が検証者の信頼済み証明書リストにあるか
- 使用された証明書は有効期限内か
- 使用された証明書は失効していないか

2.1 環境設定の「電子署名」タブ

環境設定の「電子署名」タブでは、署名の検証に関する各種設定が可能です。



Professional エディションのみ

失効状態検証：署名の証明書の失効状態を検証するかどうか

PDF オープン時の検証：PDF ファイルを開くときに検証を実行するかどうか

検証方法を指定する：どんな形式の署名であっても、ここで指定した方法で検証を行う
署名方法と検証方法の組み合わせによっては、正常に検証できない場合がある
(参照：[2.5 検証結果について](#))

指定された検証方法が使用できない場合：
署名はその種類によって専用の検証方法が指定されている。その検証方法が本製品では使用できないものだった場合の動作

署名の証明書を検証する際に基準とする日時：署名の検証には、署名に使用された証明書の検証も含まれる。有効期限切れや失効するなどして現在は無効となっている証明書でも、署名作成当時は有効だった場合がある。ここでは、そうしたケースを考慮して、検証する際に基準とする日時を選択することができる。

署名作成日時(有れば保証されたタイムスタンプの日時)

署名に保証されたタイムスタンプがついていれば、その日時を基準とする。タイムスタンプが無い場合は検証情報の収集日時を基準とする。いずれも無い場合は署名に埋め込まれた署名作成日時を基準とする。

保証されたタイムスタンプの日時（無ければ現在の日時）

署名に保証されたタイムスタンプがついていれば、その日時を基準とする。タイムスタンプが無い場合は現在の日時を基準とする。

現在の日時

タイムスタンプの有無にかかわらず、現在の日時を基準とする。

有効期限切れのタイムスタンプでも基準日時として使用する

署名とは別に、タイムスタンプにも有効期限がある。この期限が切れていた場合でも、基準日時として使用したい場合はチェックを ON にする。なお、「現在の日時」選択時は無効となる。

Professional エディションのみ

2.2 証明書をインストールする

「使用された証明書が検証者の信頼済み証明書リストにあるか」を検証するには、署名・タイムスタンプの種類に応じたルート CA 証明書および中間 CA 証明書が必要です。

使用された証明書が、Microsoft のルート証明更新プログラムに承認されている証明書であれば、バックグラウンドで自動的にインストールされます。

ただし、以下のような場合は、自動でインストールされません。

- OS の「ルート証明書の自動更新をオフにする」設定を有効にしている場合
- Microsoft に接続できない環境である場合
- 証明書のダウンロードを制限されている場合
- 自己署名証明書のような Microsoft 未承認の証明書が使用されている場合

自動でインストールされない場合は、適切な証明書を確認・取得し、手動でインポートしてください。

インポート手順

1. 取得した証明書ファイルを実行します。
2. [証明書のインストール] を押します。
3. [次へ] を押します。
4. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照] を押します。
5. ルート CA 証明書の場合は [信頼されたルート証明機関] を、
中間 CA 証明書の場合は [中間証明機関] を選択し、[OK] を押します。
6. [次へ] を押します。
7. [完了] を押すと、証明書がインポートされます。

2.2.1 アマノタイムスタンプサービス3161のCA証明書

本製品で PDF を開いて、アマノタイムスタンプの検証や付与を行うには、ルート CA 証明書と中間 CA 証明書のインストールが必要です。

1. アマノセキュアジャパン株式会社の「アマノタイムスタンプサービス 3161 のリポジトリ及びその他公開情報」のページ (<https://www.e-timing.ne.jp/repository/timestamp3161/>) から、セコムトラストシステムズ株式会社のダウンロードページにアクセスし、以下すべての証明書をダウンロードします。
 - <https://repository.secomtrust.net/SC-Root1/>
Security Communication RootCA1 Certificate (SCRoot1ca.cer)
 - <https://repository.secomtrust.net/SC-Root2/>
Security Communication RootCA2 Certificate (SCRoot2ca.cer)
 - <https://repository.secomtrust.net/SC-Root3/>
Security Communication RootCA3 Certificate (SCRoot3ca.cer)
 - <https://repo1.secomtrust.net/spcpp/ts/>
SECOM TimeStamping CA3 (ca3-der.cer または ca3.cer、どちらでも可)
2. 前述の手順で、SCRoot1ca.cer、SCRoot2ca.cer、SCRoot3ca.cer の 3 つを [信頼されたルート証明機関] のストアにインポートしてください。
3. 同様に、ca3-der.cer または ca3.cer を [中間証明機関] のストアにインポートしてください。

※ 詳細：アマノセキュアジャパン株式会社「ルート CA 証明書および中間 CA 証明書の追加設定のお願い」
(<https://www.e-timing.ne.jp/news/detail/70>)

2.2.2 GPKI官職証明書およびLGPKI職責証明書

GPKI 官職証明書および LGPKI 職責証明書による署名の検証に必要な証明書は、以下のとおりです。

- 官職認証局自己署名証明書
- LGPKI 認証局自己署名証明書
- LGPKI 中間認証局証明書

検証に必要な証明書はすべて、本製品の
[ツール] - [GPKI 環境設定] - [ダウンロード]
を押すとインポートできます。

GPKI 環境設定

GPKI官職証明書による署名の検証の設定をしてください。

失効リスト取得先(B)

官職認証局自己署名証明書URL(U)

LGPKI職責証明書<第4次> LGPKI職責証明書<第3次>

LGPKI職責証明書による署名の検証の設定をしてください。

失効リスト取得先(L)

ルート認証局自己署名証明書URL(Y)

ダウンロード(D)

LGPKI認証局自己署名証明書を確認中です。しばらくお待ちください。

LGPKI認証局自己署名証明書がインポートされていません。
ダウンロードボタンをクリックしてインポートしてください。
LGPKI中間認証局証明書がインポートされていません。
ダウンロードボタンをクリックしてインポートしてください。

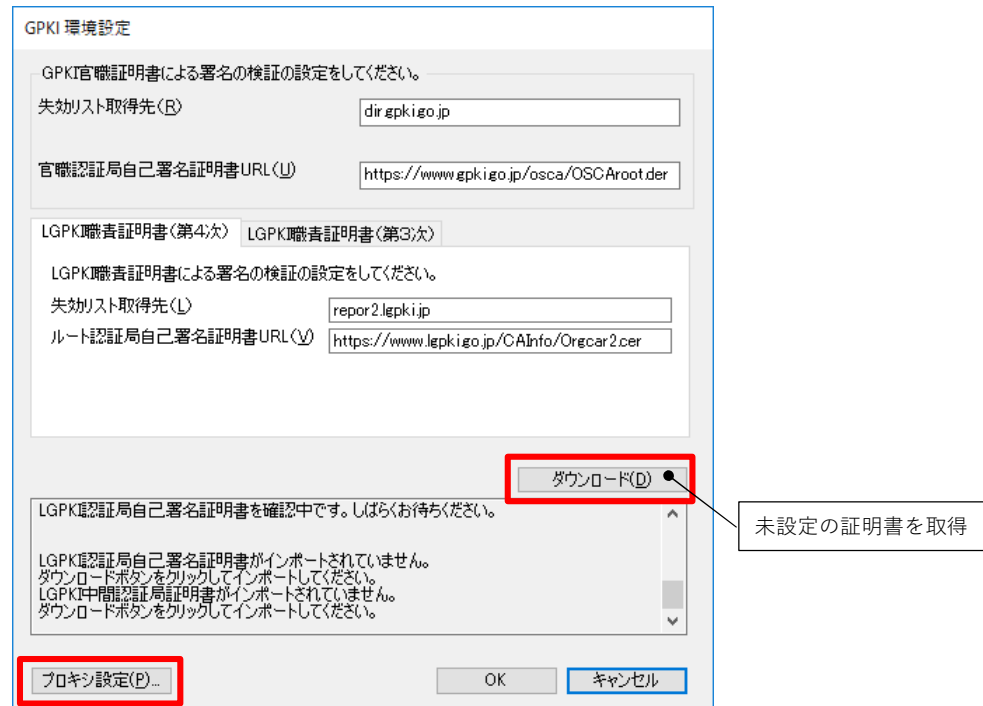
プロキシ設定(P)... OK キャンセル

2.3 検証に関する設定

検証に関する各種設定は環境設定の「電子署名」タブで行います。

(参照：[2.1 環境設定の「電子署名」タブ](#))

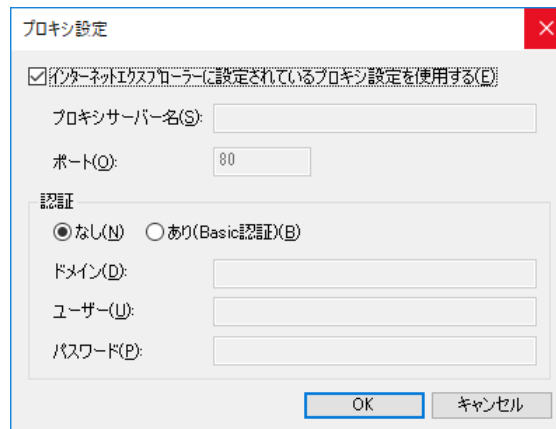
GPKI の検証に関する設定および証明書のインポートは、「ツール」メニューの「GPKI 環境設定」で行います。



The dialog box is titled "GPKI 環境設定". It contains two main sections for certificate settings. The first section is for "GPKI官職証明書" (GPKI Official Certificate) with fields for "失効リスト取得先(R)" (dir.gpki.go.jp) and "官職認証局自己署名証明書URL(U)" (https://www.gpki.go.jp/osca/OSCAroot.der). The second section is for "LGPK職責証明書" (LGPK Responsibility Certificate) with tabs for "第4次" and "第3次". It has fields for "失効リスト取得先(L)" (repor2.lepki.jp) and "ルート認証局自己署名証明書URL(V)" (https://www.lepki.go.jp/CAInfo/Orgcar2.cer). At the bottom, there is a "ダウンロード(D)" button highlighted with a red box and a callout "未設定の証明書を取得". Below this is a text area with instructions in Japanese. At the very bottom, there is a "プロキシ設定(P)..." button highlighted with a red box, and "OK" and "キャンセル" buttons.



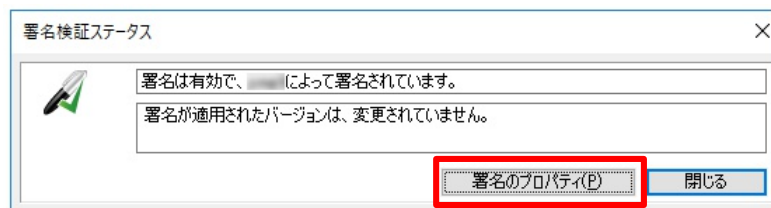
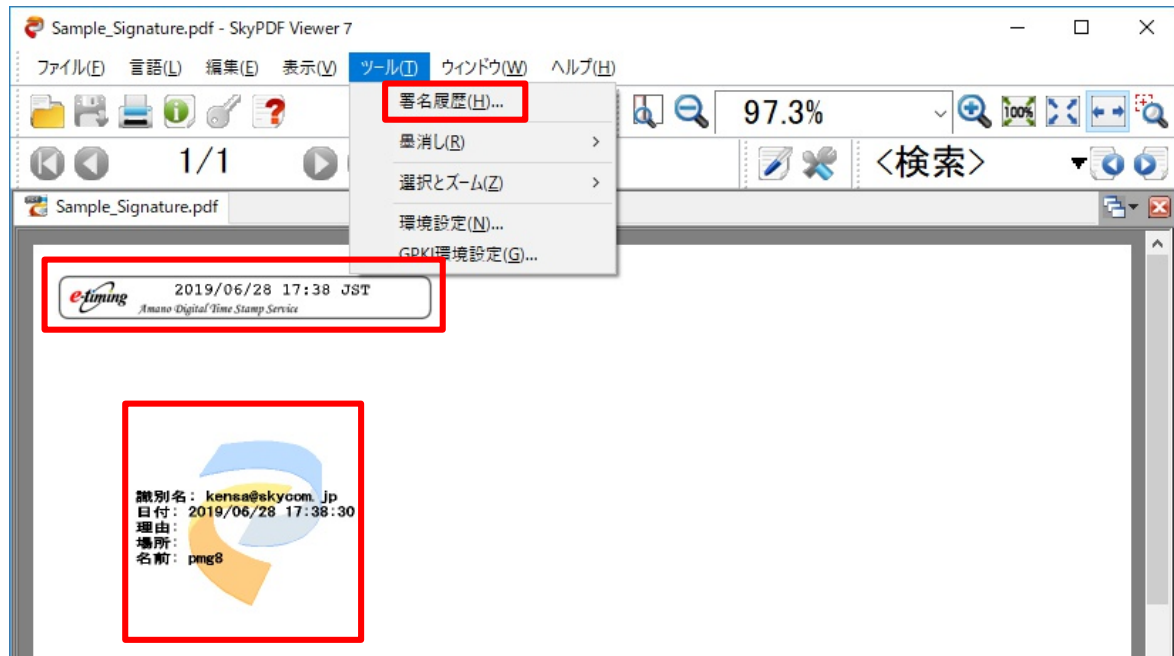
プロキシ環境を使用する場合に設定



The dialog box is titled "プロキシ設定". It has a checkbox "インターネットエクスプローラに設定されているプロキシ設定を使用する(E)" which is checked. Below it are fields for "プロキシサーバー名(S)" and "ポート(O)" (80). There is a "認証" section with radio buttons for "なし(N)" (selected) and "あり(Basic認証(B))". Below these are fields for "ドメイン(D)", "ユーザー(U)", and "パスワード(P)". At the bottom are "OK" and "キャンセル" buttons.

2.4 検証する

タイムスタンプや署名の検証を行う際は、PDF 上に表示されている印影をクリックするか、
[ツール] メニューの [署名履歴] を開きます。



2.5 検証結果について

本製品における検証結果のステータスは、主に以下の5つのパターンで表示されます。

- 有効
- 有効（延長）
- 改ざん
- 追加編集
- 不明



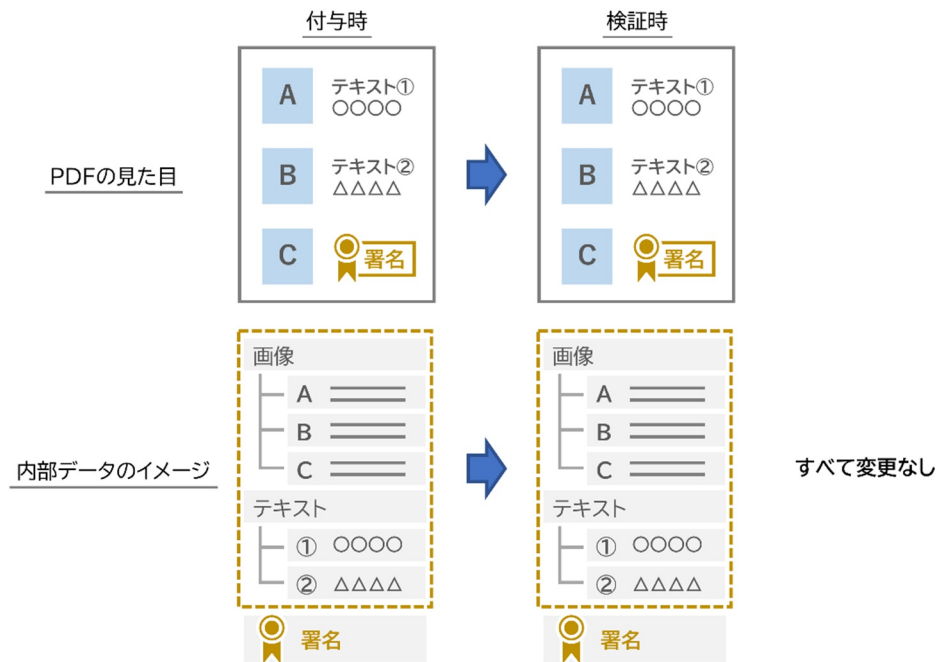
- ※ 改ざんされている文書、追加編集が行われている文書は、公的機関への申請や長期保存（有効期間の延長）を行うには不適当です。
- ※ 他社製品の検証機能を使用した際にどのような検証ステータスが表示されるかは、各メーカーの製品仕様によって異なる可能性があります。ここで説明するのは、当社のSkyPDF製品仕様に則った検証ステータスです。

2.5.1 有効

署名の場合 ：署名は有効です。改ざんはありません。

タイムスタンプの場合 ：タイムスタンプは有効です。改ざんはありません。

「有効」は、タイムスタンプや署名の付与後、文書に変更がないことを示す検証結果です。

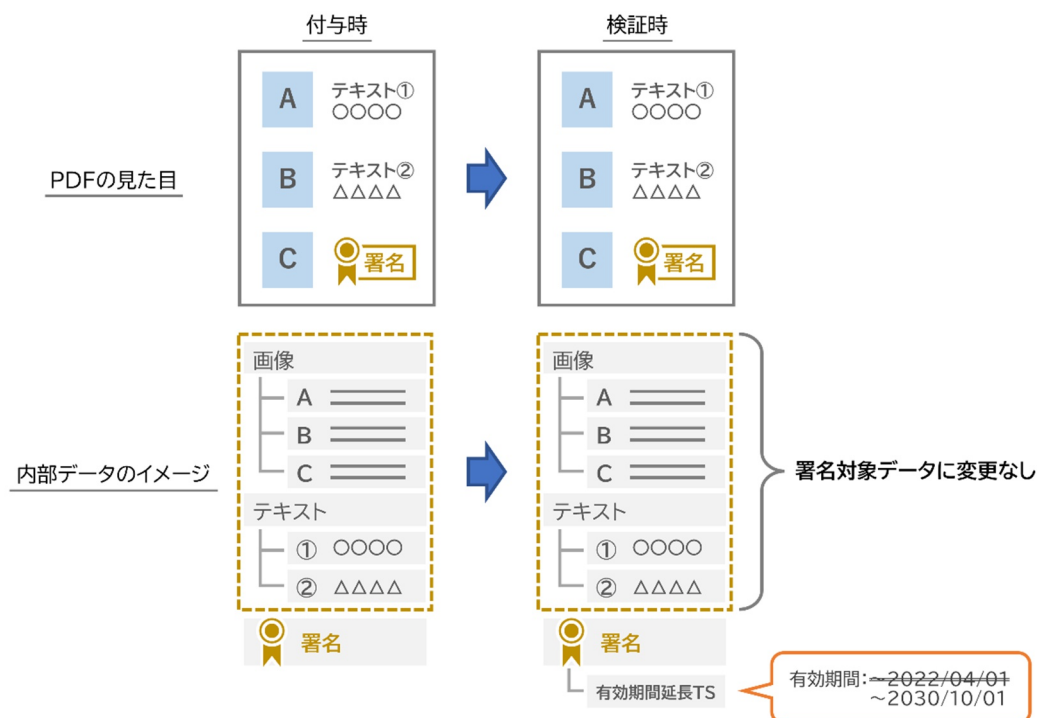


2.5.2 有効（延長）

署名の場合 : 署名は有効です。本署名に対して有効期間延長タイムスタンプが押されています。

タイムスタンプの場合 : タイムスタンプは有効です。本タイムスタンプに対して有効期間延長タイムスタンプが押されています。

「有効（延長）」は、タイムスタンプや署名の付与後、文書に変更はなく、タイムスタンプの有効期間を延長する「有効期間延長タイムスタンプ」が追加されていることを示す検証結果です。



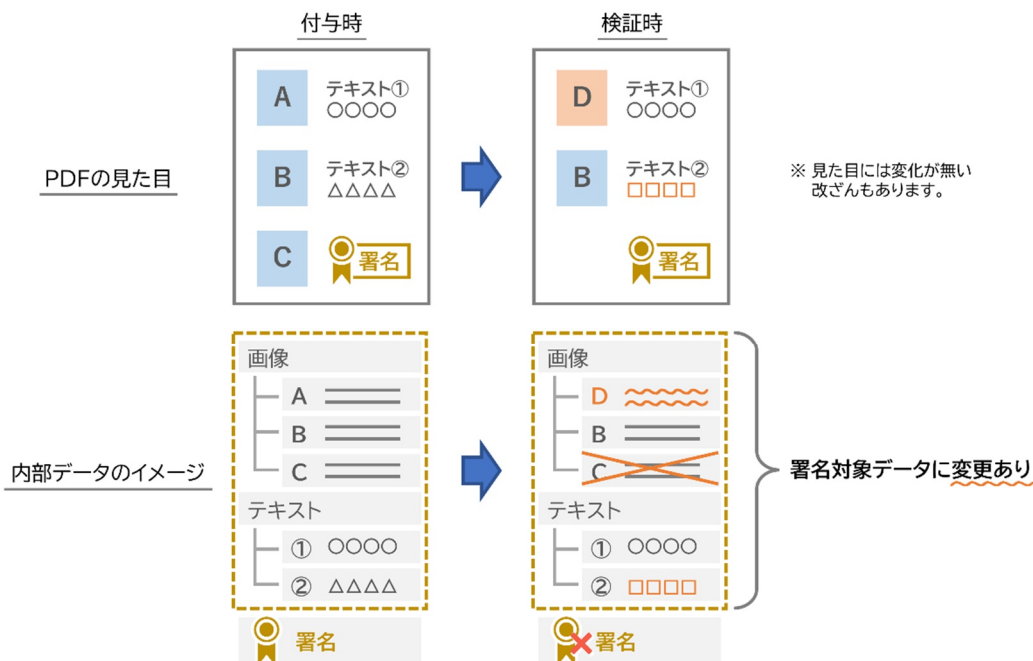
2.5.3 改ざん

署名の場合 : 署名は無効です。文書が改ざんされている可能性があります。

タイムスタンプの場合 : タイムスタンプは無効です。文書が改ざんされている可能性があります。

「改ざん」は、タイムスタンプや署名の付与後、なんらかの変更が行われたことを示す検証結果です。署名・タイムスタンプの対象である内部データが、付与時と異なる状態となっていれば改ざんとして検知されます。

なお、改ざん（対象データの変更）の結果は、PDFの見た目（外観）に現れるとは限りません。



データの偽造のほか、PDF編集後に再構成保存（参照：[2.5.6 増分更新と再構成について](#)）が行われたことで対象データに変更があった場合も、改ざんとして検知されます。

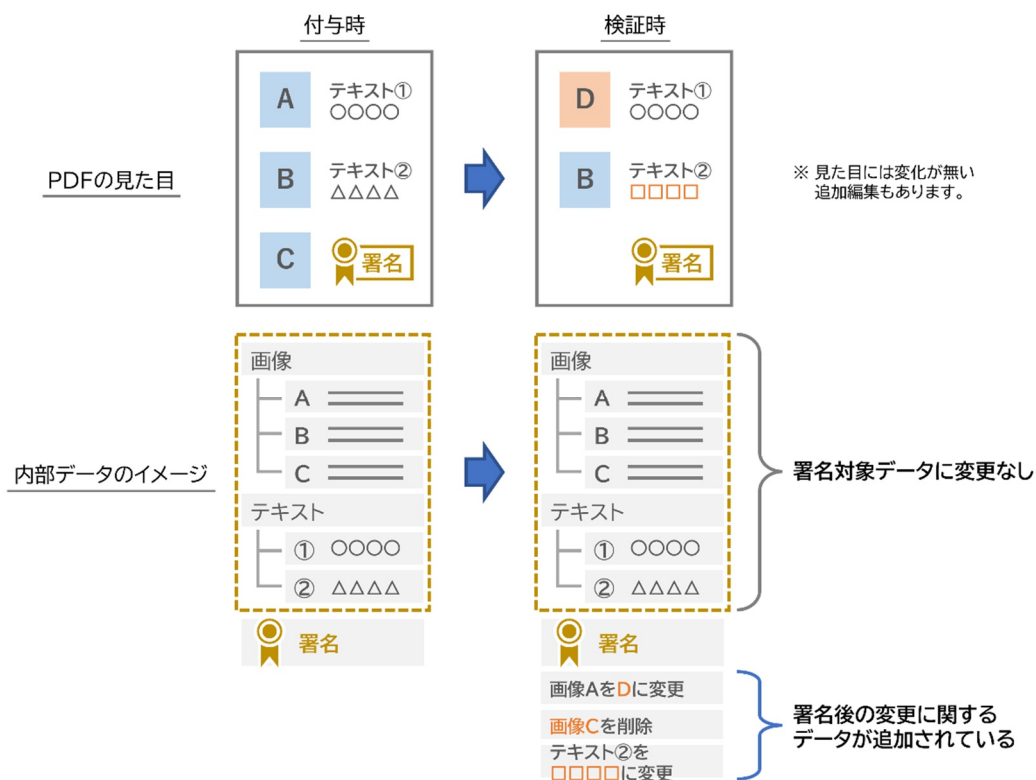
2.5.4 追加編集

署名の場合 : 署名された後に注釈や署名・捺印などの追加編集がされています。

タイムスタンプの場合 : タイムスタンプ後に注釈や署名・捺印などの追加編集がされています。

「追加編集」は、タイムスタンプや署名の付与後、なんらかの変更が行われたことを示す検証結果です。ただし、改ざんとは違い、署名・タイムスタンプの対象である内部データには変更がなく、変更内容に関する新たなデータがファイルの末尾、つまり署名やタイムスタンプの後に追加された状態のことを指します。

なお、追加編集（変更データの追記）の結果は、PDFの見た目（外観）に現れるとは限りません。



署名やタイムスタンプが付与されたPDFを編集した後、改ざんではなく追加編集として保存するには、増分更新保存（参照：[2.5.6 増分更新と再構成について](#)）を行う必要があります。

また、**不可視のアマノタイムスタンプのみが付与されたPDF**の場合は、他の署名やタイムスタンプと違って「検証情報の追加」も追加編集と見なします。検証方法に「SKYCOM Standard Signature」を設定※して検証すると、追加編集と見なさず正常な検証結果を得ることができます。

※ 検証方法の変更：[環境設定] - [電子署名] タブ - [詳細] - [検証方法を指定する]

2.5.5 不明

- ・署名は未検証または不明です。
- ・タイムスタンプは未検証または不明です。
- ・捺印は未検証または不明です。
- ・失効リスト（CRL）が取得できません。

など

証明書の不足やネットワーク障害など、何らかの理由で正常に検証できなかったことを示す検証結果です。

なお、マイナンバーカードに格納された電子証明書を使って付与された署名は、申請先の各行政機関（国税庁、特許庁など）や総務大臣が認定した一部の民間事業者にしか検証できないため、一般の検証結果には不明と表示されます。

2.5.6 増分更新と再構成について

増分更新保存とは、既存の内部データをそのまま維持して、変更に関する新たなデータを末尾に追加していく保存方式です。

新たな署名やタイムスタンプの付与、注釈・テキスト・画像の追加や変更、削除など、変更の内容を問わず、保存を行うたびに追加されます。

例えば、ページを削除して増分更新保存を行った場合、削除されたページのデータを含め既存のデータはそのままの状態に残し、「○ページを削除した」というデータを新たに追加するため、ページ削除前に比べてファイルサイズは大きくなります。

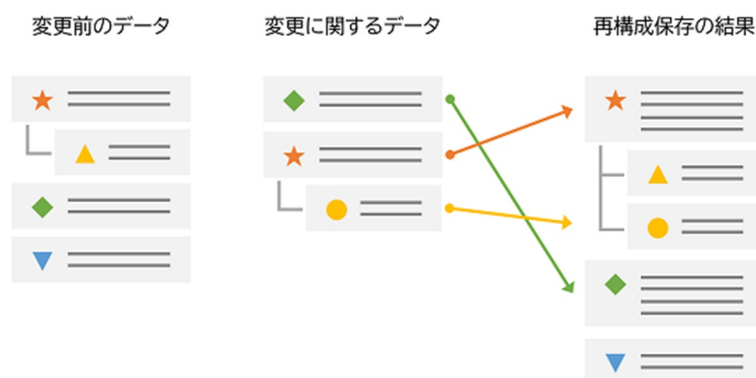


再構成保存とは、署名対象データや署名そのもののデータを含め、PDF を構成するすべての要素を再構成して保存する保存方式です。

例えば、ページを削除して再構成保存を行った場合、削除されたページに関するデータが無い新しい PDF として構成しなおすため、ページ削除前に比べてファイルサイズは小さくなります。

次のような編集や操作には、再構成保存が必要となります。

- ・セキュリティ設定の変更
- ・別 PDF とのファイル結合
- ・ページ抽出機能を使った新規 PDF 作成



PDFに対する変更が、増分更新と再構成のどちらの方式で保存されるかは、使用するアプリケーションの仕様や設定に依存します。

SkyPDF製品では、署名・タイムスタンプが付与されているPDFの変更は、設定にかかわらず増分更新で保存し、セキュリティ設定の変更など再構成保存が必要な編集や操作は、一部の例外を除き制限する仕様となっています。

2.6 検証できない場合

検証した際、以下のようなエラーメッセージが表示され、正常に検証できないことがあります。

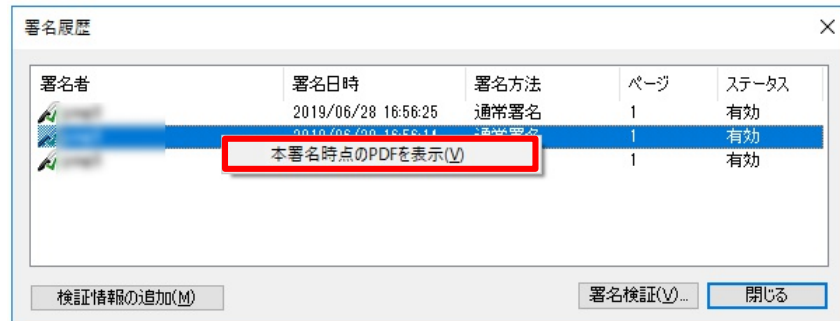
- 未対応の署名もしくはタイムスタンプです。
- 署名検証プラグインがインストールされていません。
- 署名データの取得に失敗しました。署名が破損している可能性があります。

通常はそのままの意味ですが、**指定された署名の検証方法が署名形式に適していない場合**も、このように表示されることがあります。

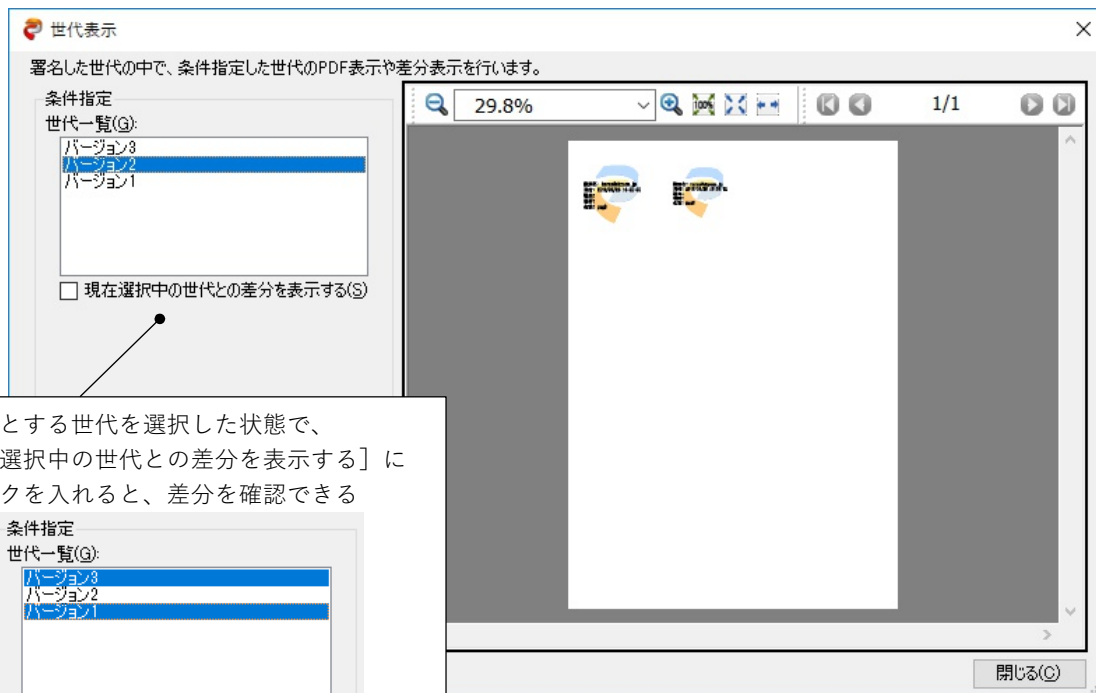
〔環境設定〕－〔電子署名〕タブ－〔詳細〕－〔検証方法を指定する〕のチェックをはずし、検証を行ってください。

2.7 署名履歴の世代表示

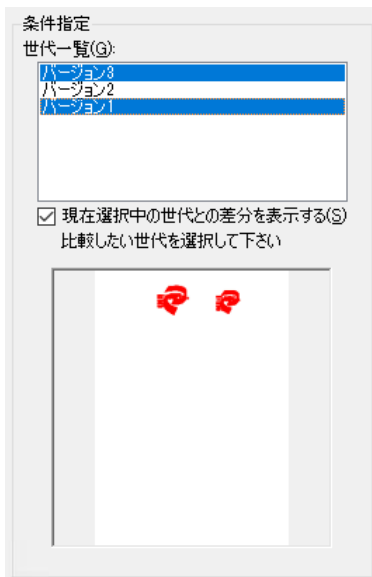
署名履歴の画面で履歴の一覧を右クリックし、[本署名時点のPDFを表示]を開くと、署名を追加した時のPDFの表示や、他の署名時点との差分表示を確認することができます。



世代は、その PDF に署名が追加され保存（増分更新）されるたびに更新されます。
最初に署名を追加した時点を「バージョン 1」とし、現在（最新のバージョン）からバージョン 1 までを遡って表示することができます。



比較元とする世代を選択した状態で、
[現在選択中の世代との差分を表示する] に
チェックを入れると、差分を確認できる



3 鉛筆ツール

鉛筆ツールを使うと、PDF ページ上にフリーハンドで図形を描画することができます。

3.1 環境設定の「注釈」タブ

鉛筆ツールで追加できる注釈の色や線幅や、ポップアップ注釈の表示については、環境設定の「注釈」タブで事前に設定できます。



環境設定

インク入力	サーバー連携	イメージ挿入	埋め込みファイル	フォーム
電子署名	署名テキスト	捺印	アマノタイムスタンプ	SEIKOタイムスタンプ
ページ設定	関連付け	印刷設定	言語環境	注釈
			WebDAV	時限

注釈の表示設定

	線色	線幅	塗りつぶし色	アイコン
鉛筆ツール:	黒	0.5	なし	
線ツール:	黒	0.5	なし	
四角ツール:	黒	0.5	<input checked="" type="checkbox"/> なし	
楕円ツール:	黒	0.5	<input checked="" type="checkbox"/> なし	
メモ貼り付け:	黒	0.5	<input checked="" type="checkbox"/> ノート	アイコン
ファイル添付:	黒	0.5	<input checked="" type="checkbox"/> 虫ピン	アイコン...
フリーテキスト:	白	0.5	<input type="checkbox"/> なし	

フリーテキストのフォント設定

フォント: MS P明朝 サイズ: 10.5

テキストの文字飾り表示設定

マーカー: ☒ アンダーライン: ☒
取り消し線: ☒ 波線: ☒

ポップアップ注釈の表示

☐ 注釈(コメント)を表示しない

スタンプ注釈の設定

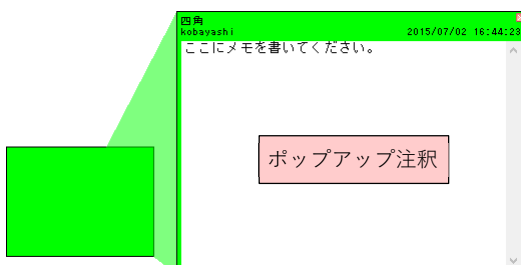
種類: スタンプ未設定 設定変更 ☒ 縦横比を固定する

OK キャンセル 適用(A)

線色・線幅の設定が可能

※ Professional エディションのみ

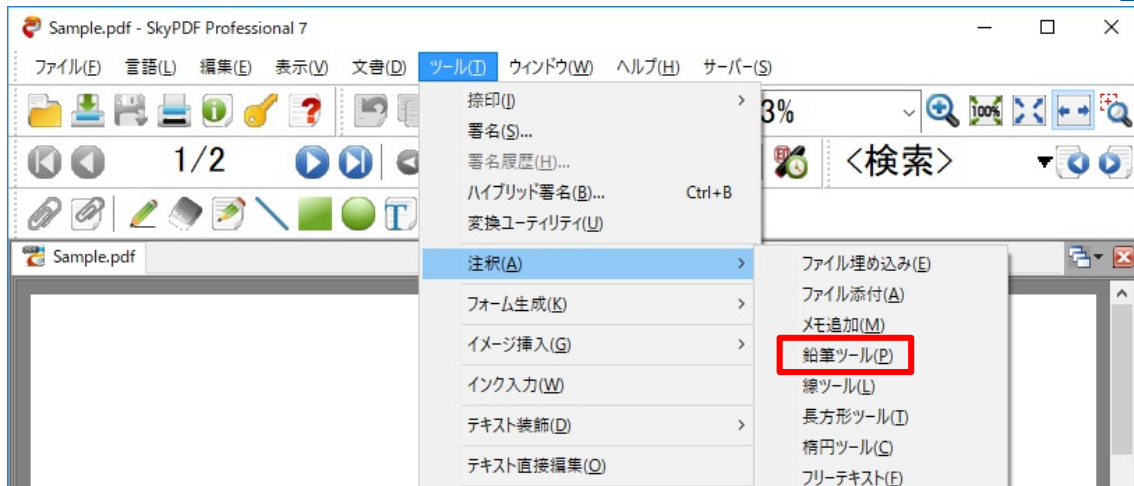
注釈をダブルクリックしたときに
表示されるポップアップを非表示
にする



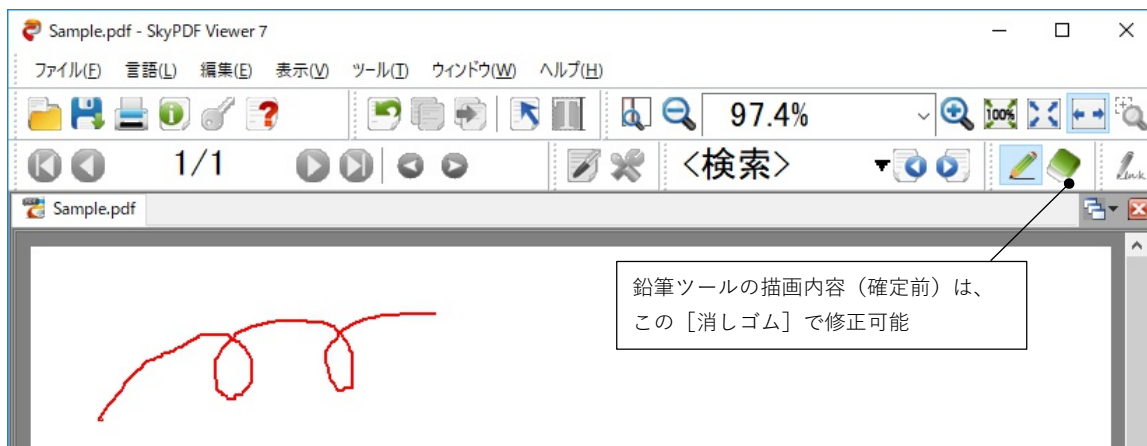
3.2 鉛筆ツールで描画する

フリーハンドで図形を描画することができます。

1. [ツール] - [注釈] - [鉛筆ツール] を選択します。

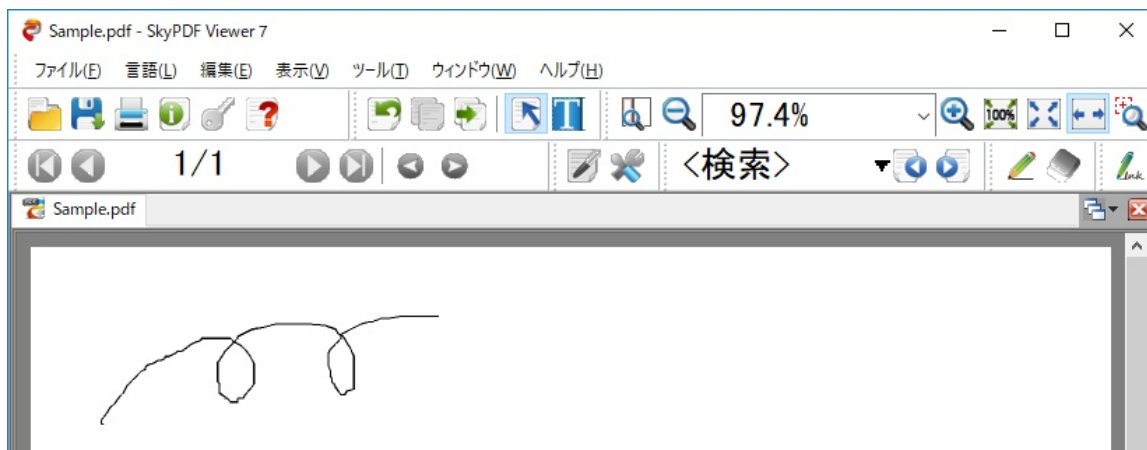


2. PDF表示エリア上にフリーハンドで図形を描画します。



3. キーボードの [Enter] キーを押すか、もう一度 アイコンを押して、確定します。

※ [Esc] キーを押すと描画をキャンセルできます。



3.3 注釈の編集

PDFに追加した各種の注釈は、後から編集することができます。

Professionalエディション以外の製品では、鉛筆ツールを使って追加したインク注釈のみ、本節で説明する編集が可能です。

3.3.1 注釈を移動する

マウストラッグで任意の位置に移動させることができます。

3.3.2 注釈のコピー・貼り付けを行う

鉛筆ツールで描画したインク注釈は、コピー・貼り付けが可能です。

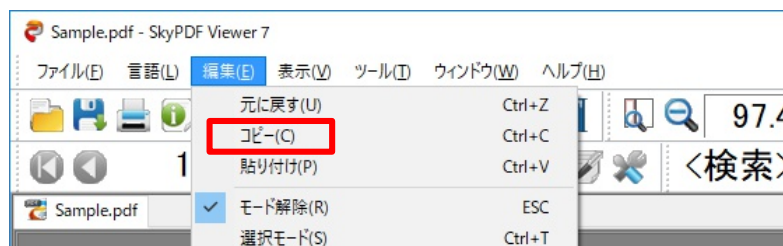
ただし、以下のような操作はできません。

- 切り取り
- 右クリックメニューからのコピー・貼り付け
- 複数の注釈のコピー・貼り付け
- 本製品以外のアプリケーションで開いた文書への貼り付け
- 別ウィンドウで開いたPDFへの貼り付け
- コピー元となるPDFを閉じた後の貼り付け
- ナビゲータからのコピー・貼り付け

1. コピーしたい注釈を選択します。

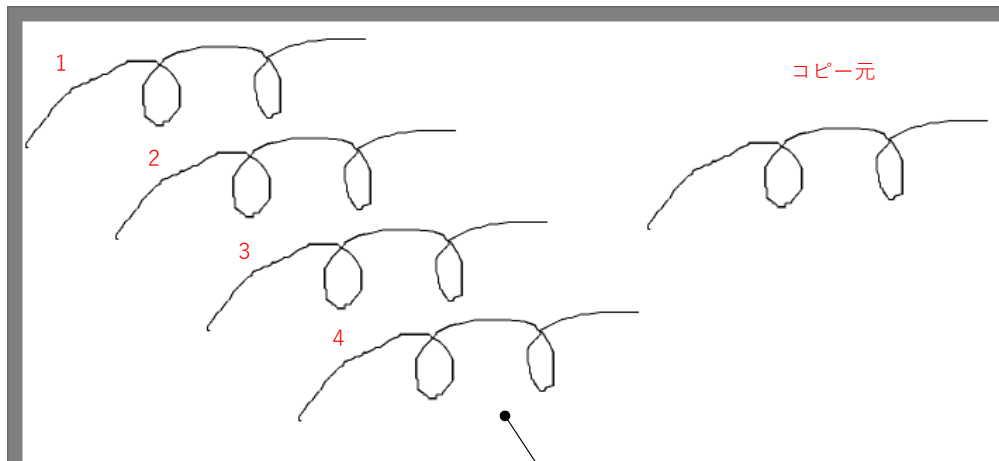
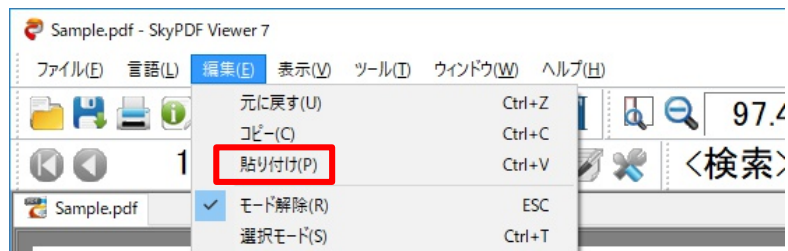


2. [編集] - [コピー] からコピーします。



3. 貼り付けたいページで [編集] - [貼り付け] を実行します。

 Ctrl + V



注釈は PDF 表示エリア上の左上に貼り付けられます。
そのまま連続して貼り付けを行うと、その右下に貼り付けられます。
位置は貼り付け後に調整してください。

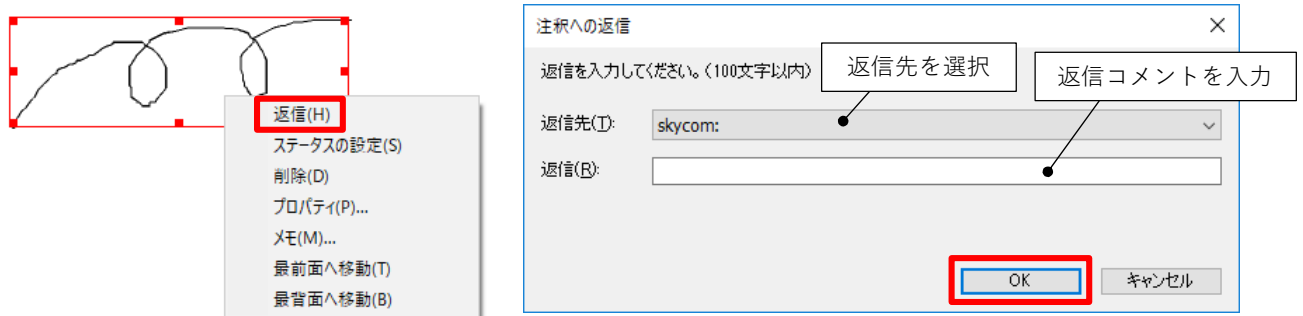
3.3.3 注釈の返信コメントを付ける

PDFに追加されている注釈に対し、返信コメントを付けることができます。

PDF 表示エリアで操作

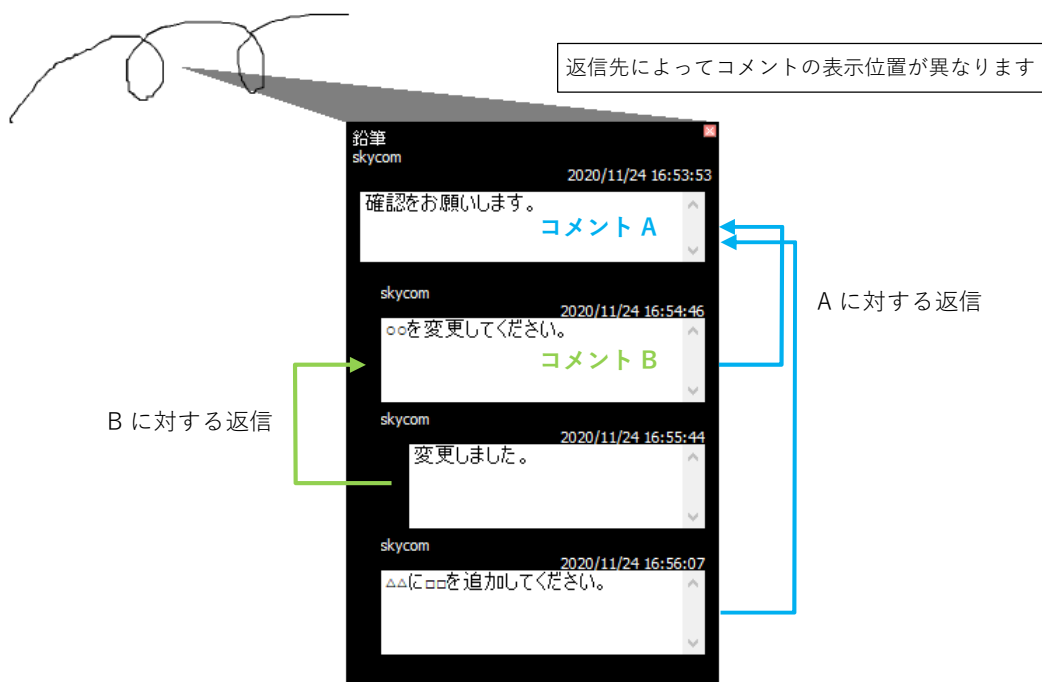
返信コメントを付ける

返信したい注釈を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「返信」を選択します。



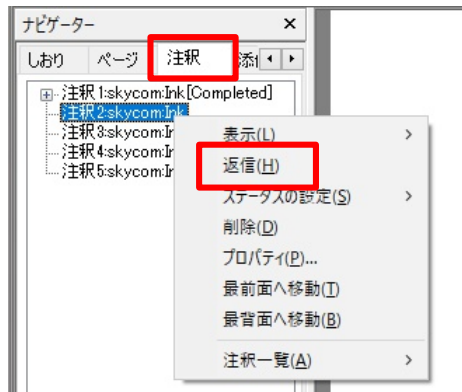
返信コメントを編集する

返信コメント付与後、注釈をダブルクリックすると、返信コメントが表示されます。
表示されたコメントは直接編集できます。



ナビゲータから操作

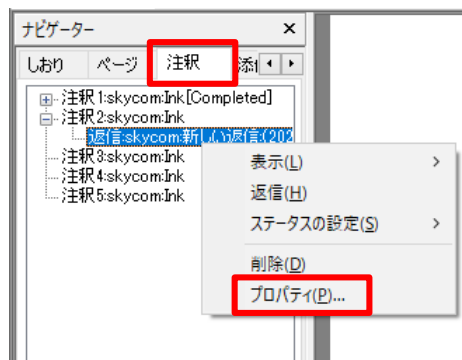
返信コメントを付ける



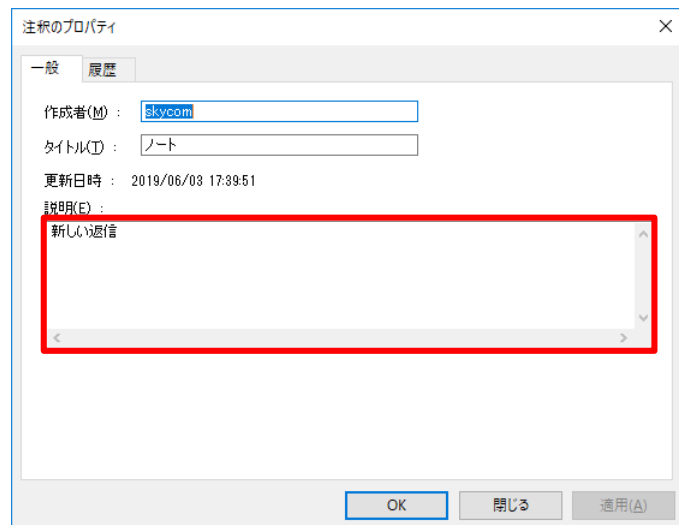
1. ナビゲータの「注釈」タブを表示します。
2. 注釈を右クリックし、「返信」を選択します。
3. 返信コメントを直接入力します。



返信コメントを編集する

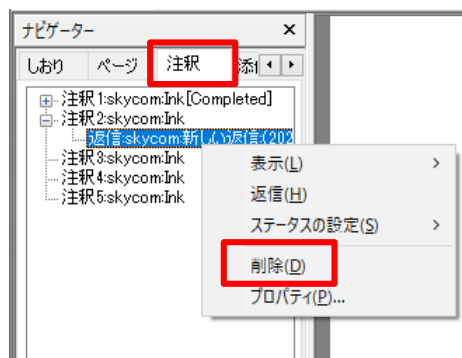


1. ナビゲータの「注釈」タブを表示します。
2. 編集したいコメントを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
3. 「説明」を編集して、「OK」を押します。



返信コメントの削除

ナビゲータの「注釈」タブで、返信の右クリックメニューから「削除」を選択すると、返信コメントを削除できます。



- ※ 返信が複数あるもの（ツリー状に表示されている）は、下位の返信も同時に削除されます。
- ※ PDF表示エリア上で注釈を選択した際の右クリックメニューにある「削除」は、注釈自体を削除するものです。PDF表示エリアから返信を個別に削除することはできません。

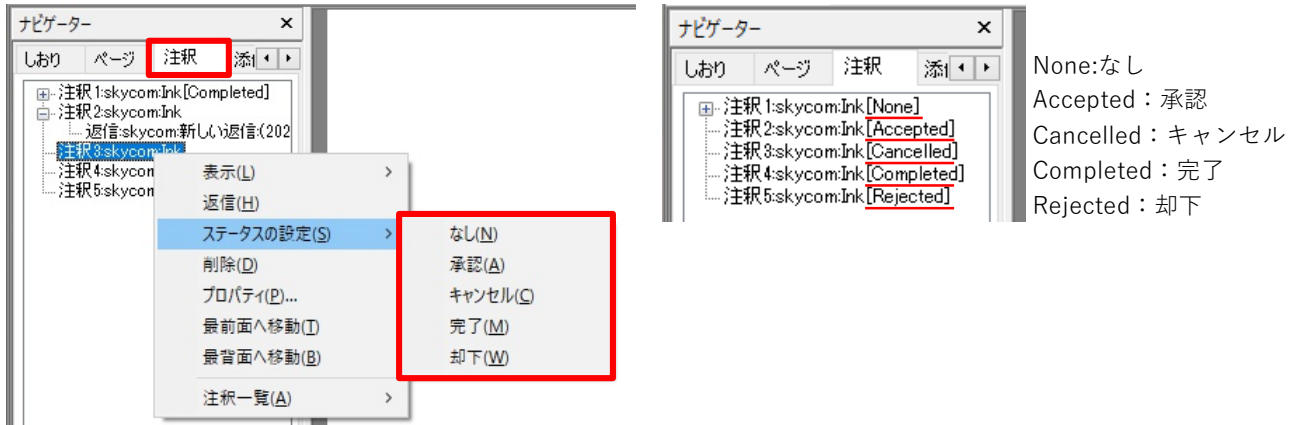
3.3.4 注釈にステータスを付与する

注釈や返信に、「承認」や「完了」などのステータスを設定することができます。

※ ステータスの変更履歴はプロパティ画面で確認できます。（参照：[3.3.5 注釈のプロパティを編集する](#)）

ナビゲータから付与する

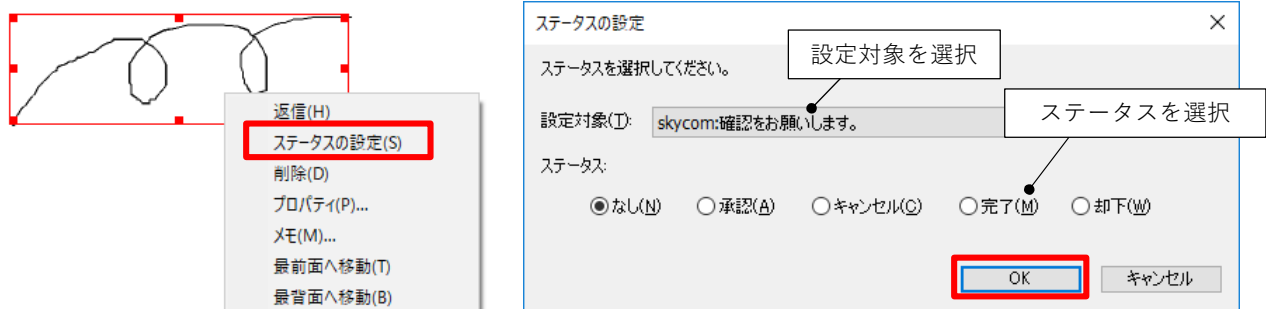
ナビゲータの「注釈」タブで注釈を選択し、右クリックメニューの「ステータスの設定」から任意のステータスを選択します。



PDF 表示エリアから付与する

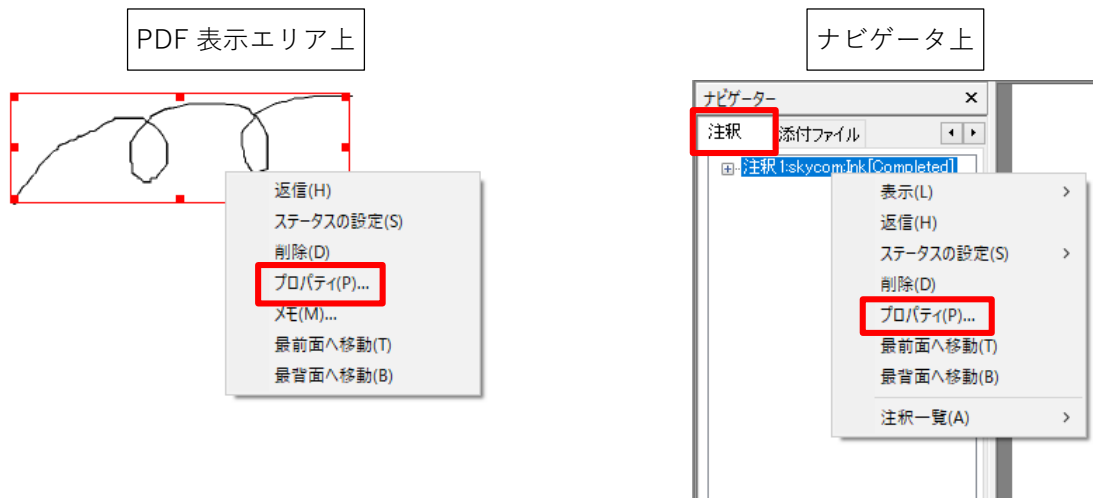
注釈の右クリックメニューから「ステータスの設定」を選択します。

表示された「ステータスの設定」ダイアログで任意のステータスを選択します。



3.3.5 注釈のプロパティを編集する

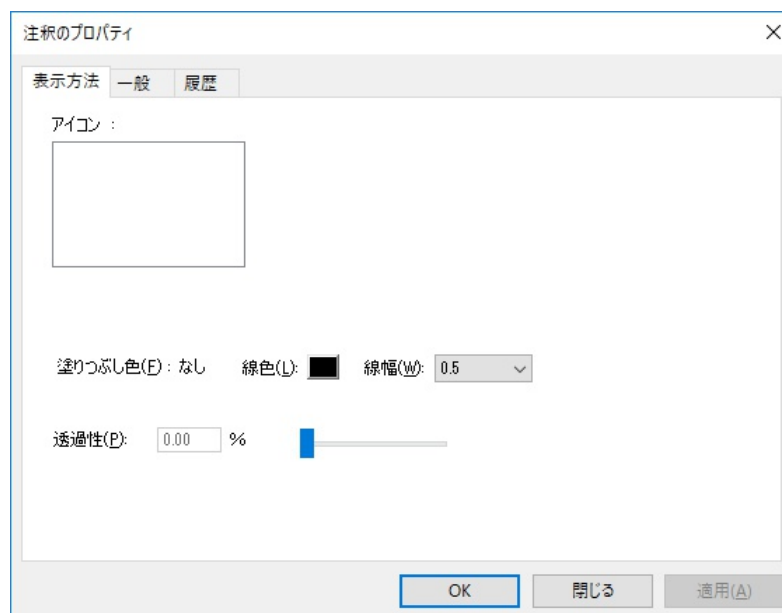
注釈上で右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「プロパティ」を選択します。



「表示方法」タブ

「表示方法」タブでは注釈の表示を編集することができます。

鉛筆ツールで追加したインク注釈の場合、線色、線幅、透過性を編集できます。



[一般] タブ

[一般] タブでは注釈の作成者、タイトル、説明（メモ）を編集することができます。

The screenshot shows a dialog box titled '注釈のプロパティ' (Properties of Annotation) with a close button (X) in the top right corner. It has three tabs: '表示方法' (Display Method), '一般' (General), and '履歴' (History). The '一般' tab is selected. Inside the dialog, there are three input fields: '作成者(M):' (Creator) with the value 'skycom', 'タイトル(T):' (Title) with the value '鉛筆' (Pencil), and '更新日時:' (Update Date) with the value '2020/11/24 16:53:53'. Below these is a text area for '説明(E):' (Description) containing the text '確認をお願いします。' (Please confirm.). At the bottom right, there are three buttons: 'OK', '閉じる' (Close), and '適用(A)' (Apply).

[履歴] タブ

[履歴] タブでは注釈のステータス（参照：[3.3.4 注釈にステータスを付与する](#)）の履歴を確認することができます。

The screenshot shows the same '注釈のプロパティ' (Properties of Annotation) dialog box, but with the '履歴' (History) tab selected. The '表示方法' (Display Method) tab is also visible. The 'ステータス設定の履歴(R):' (Status Setting History) section contains a list of status changes: 'skycom : [Accepted] : (2020/11/24 17:21:06)' and 'skycom : [Completed] : (2020/11/24 17:21:14)'. The bottom buttons 'OK', '閉じる' (Close), and '適用(A)' (Apply) are still present.



SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7

ユーザーマニュアル (b.タイムスタンプ・署名の検証／鉛筆ツール)

第10版 2023年4月26日 発行